

鉄道博物館建設に伴う東日本旅客鉄道㈱への協力について

平成16年12月15日

東日本旅客鉄道株式会社と財団法人東日本鉄道文化財団が平成19年度、さいたま市に建設を計画している「鉄道博物館」の建設・運営に関わる協力を、下記の内容により行うことになりました。

1. 鉄道博物館建設に参画する目的と意義

- (1) 小中学生に、貨物鉄道の歴史や技術などを紹介することにより、貨物鉄道に対する関心や好奇心を持ってもらうと同時に、実物の鉄道展示品を通して子供達に夢を与える。
- (2) 貨物鉄道の歴史的変遷や産業発展に寄与してきた役割を記録や実物で保存し、後世に残す。
- (3) 鉄道の歴史は貨物鉄道の歴史と密接不可分であり、参画することが望ましい。

2. 建設・運営に関わる協力の内容

(1) 建設工事費 1億円（寄付金）

(2) 運営費 毎年5百万円（寄付金）

(3) 展示車両など（案）

電気機関車 2両

貨車 2両

コンテナ 12フィートタイプ 5形式

鉄道部品及び資料など

(参考)

鉄 道 博 物 館 の 概 要

1. 所在地 埼玉県さいたま市大宮区大成町3丁目、同北区大成町4丁目
2. 敷地面積 約42,500㎡
3. 延床面積 約19,800㎡
4. 展示スペース 約 9,600㎡
5. 展示車両 35両
6. その他施設 運転シミュレータ、模型鉄道ジオラマ、ミニ運転列車(屋外)、資料収蔵庫、図書収蔵庫、映像コーナー、多目的ホールなど
7. 開館予定 平成19年秋頃の予定
8. 運営方式 (財)東日本鉄道文化財団が建設及び運営を行う。
9. 工事費 約124億円(うち25億円をさいたま市が基金として負担)
10. 工事着工時期 平成17年冬頃の予定